

# 大分県

定数：4名

立候補者数：4名



氏名 竹村 仁  
氏名ふりがな たけむら じん  
都道府県士会 大分県  
年齢 53  
勤務先名称 臼杵市医師会立コスモス病院

### 日本理学療法協会活動歴

平成24年から現在まで代議員

### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成19～29年 理事  
平成24～27年 社会局長  
平成27～29年 職能局長、予防事業推進委員長 兼務  
平成29～令和6年 地域包括ケア推進委員長  
令和6年～現在 大分県リハビリテーション専門職団体協議会 事務局長

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

### 立候補の趣旨

現在、私たちは大きな転換期の中にいます。令和6年度の急性期リハ拡充を受け令和8年度改定に向けた議論では、理学療法士の役割を「訓練室」という枠から解き放ち、チーム医療の中核へと据え直す動きが加速しています。改定案では、病棟業務や指導、多職種連携に従事した時間を「20分につき1単位」として評価する仕組みが検討されており、私たちの専門性が病棟全体や地域連携の質向上に寄与するものとして正当に評価されようとしています。また、入院直後3日以内の早期介入や、土日祝日のリハ提供体制を新たに評価する方向性は、発症から地域生活まで切れ目なく支援する理学療法士の価値を示すものです。

一方で、回復期リハでは実績指数や疾患別リハ料の見直しが進み、これまで以上にアウトカムの質やエビデンスに基づく介入が求められます。特に「リハ・栄養・口腔管理」の三位一体の取り組みが重要となり、多職種と協働してADL維持・向上にどう貢献するかが問われています。

大分県では短期集中予防サービスの定着や、地域包括ケア病棟での連携体制加算の活用が今後の鍵となります。地域リハを先駆けて進めてきた大分県の経験を次期改定につなげることが私たちの責務です。

私は代議員としての経験を生かし、現場の声を丁寧に受け止めながら、協会の橋渡し役として職域確保と地位向上に尽力します。会員の皆様とともに、2040年を見据えた「治し、支える医療」を実現してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



氏名 市川 泰朗

氏名ふりがな いちかわ やすあき

都道府県士会 大分県

年齢 53

勤務先名称 藤華医療技術専門学校

### 日本理学療法協会活動歴

平成23年度～現在 (公社) 日本理学療法士協会 代議員  
令和元年～2年度 (公社) 日本理学療法士協会 協会・学会連携強化検討小委員会 委員  
令和3年～6年度 (公社) 日本理学療法士協会 倫理委員会 委員

### 都道府県理学療法士(協)会活動歴

平成13年～16年度 (社) 大分県理学療法士協会 学術局 教育研修部 部員  
平成17年～23年度 (社) 大分県理学療法士協会 学術局 教育研修部 部長  
平成24年～27年度 (公社) 大分県理学療法士協会 理事 学術局長  
平成28年～29年度 (公社) 大分県理学療法士協会 理事 事務局長  
平成30年～現在 (公社) 大分県理学療法士協会 国際活動推進委員会 委員長  
平成30年～現在 (公社) 大分県理学療法士協会 代表理事 (会長)

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

### 立候補の趣旨

大分県理学療法士協会の会長を4期8年務めています。20代、30代が会員全体の75%を占める中、当該世代の考えを協会・士会の運営に活かし、相互に納得感の得られる組織にしていくことが組織運営における重要課題の1つと考えています。私は士会の長としてやりたいことがあります。県や市町村と連携し、士会事業を行政からの委託事業としてもっと展開したい。政策実現に向けた活動にも力を入れていきたい。卒前・卒後の教育体制づくりに道筋をつけたい。

しかし、近年の全国的な休会者増に歯止めがかからない中、学術団体として理学療法士の質の担保に必要な自己研鑽の風土を我々は醸成できているのか。公益事業のマンパワーをこれからも安定的に確保できるのか。次世代に繋ぐための中堅リーダー育成は進んでいるのか。今年の処遇改善は会員にとって満足いくものだったのか。

検証と中長期的ビジョンが必要だと考えます。

皆さんの声を協会に届け、14万人組織の喫緊の課題を全国の仲間と共有し、協会の進むべき方向性の議論に私を参画させてください。課題解決に向けひとつずつ粉骨砕身取り組んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。



氏名 渡邊 亜紀  
氏名ふりがな わたなべあき  
都道府県士会 大分県  
年齢 46  
勤務先名称 大分リハビリテーション病院

### 日本理学療法協会活動歴

2020年 日本理学療法士協会代議員  
現在に至る

### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

2018年 大分県理学療法士協会理事  
社会局長  
現在に至る

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

### 立候補の趣旨

今回3期目の代議員に立候補させていただきました。  
代議員となったこの6年間は日本理学療法士協会理事会や総会、女性代議員の集いなどに参加し活動してまいりました。大分県理学療法士協会では社会局長として、健康増進部、スポーツ事業部の事業を中心に尽力し、2025年は九州理学療法士学術大会2025 in おおいたの副大会長、2022年に創立50周年を迎えた大分県理学療法士協会の公益事業の一環として開催した健康フェスタの準備委員長を務めました。日々の事業で学術・職能団体としての役割を果たす中で、県民の健康寿命延伸に向けた事業（スクールヘルス、スポーツ分野、産業理学療法など）にかかわる理学療法士への期待を実感したとともに、人材の育成など取り組むべき課題はまだまだあると考えております。  
今後、社会に貢献できる理学療法士の育成と理学療法士が活躍できる機会を広げていくためには県士会と日本理学療法士協会が両輪となって活動していくことが不可欠であり、代議員となった暁にはその活動の一翼を担っていきたいと考えております。  
どうぞよろしく願いいたします。



氏名 高橋 隆一

氏名ふりがな たかはし りゅういち

都道府県士会 大分県

年齢 53

勤務先名称 中村病院

### 日本理学療法協会活動歴

平成30年～ (公社)日本理学療法士協会 代議員  
第55回日本理学療法学会学術研修大会2020 in おおいた 準備委員長

### 都道府県理学療法士(協)会活動歴

平成10年～16年	(社)大分県理学療法士協会	学術局	教育研修部	部員
平成19年～22年	(社)大分県理学療法士協会	事業局	スポーツ事業部	部長
平成23年	(公社)大分県理学療法士協会	事業局	スポーツ事業部	部長
平成24年～25年	(公社)大分県理学療法士協会	事業局長		
平成26年～27年	(公社)大分県理学療法士協会	理事	事業局長	
平成28年～29年	(公社)大分県理学療法士協会	理事	社会局長	
平成30年～	(公社)大分県理学療法士協会	副会長		
令和4年～	(公社)大分県理学療法士協会	災害リハ対策委員会		委員長

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

### 立候補の趣旨

日本理学療法士協会代議員に立候補いたしました高橋隆一です。  
 代議員として4期8年努めさせて頂きましたが今回も大分県理学療法士協会の意見を伝えるために立候補致します。  
 現在、理学療法士の活躍の場は、医療・介護・予防・地域包括ケア・スポーツなど多方面に広がっています。その一方で、制度や社会構造との調整が求められる課題も増えており、現場の実情を踏まえた丁寧な議論と合意形成がこれまで以上に重要になっていると感じています。臨床現場と協会運営の双方に関わりながら、理学療法士を取り巻く環境の変化を経験してまいりました。  
 代議員は、協会の意思決定に関わる立場であると同時に、会員の声や現場の実情を協会へ届け、その内容を再び現場へと還元していく役割を担っていると認識しています。これまでの代議員活動を通じて、制度や方針が現場に与える影響の大きさ、そして継続して意見を伝え続けることの重要性を実感しています。  
 どうかご支援の程、宜しくお願い致します。